



左から筒井金七さん、マツさん、和子さん

金メダリストが 我が家に やってきた!!

筒井さん一家(飯島)

我が家には、ロシア・スポーツアクト体操チームからポリナ・リュマレワさん(17歳)とアンナ・モホワさん(20歳)がホームステイしました。なんとこの2人、金メダリストなんです!メダルも見せてもらいました。重みがありました。

ロシア語は初めてでしたが、長女が東京から帰省してくれて英語でコミュニケーションがとれたので不便はなかったです。普段の彼女たちはネイルアートに興味を持ったり、ビーズで作った指輪やネックレスのプレゼントにはしゃいだり、本当に普通の女の子という感じでした。1日にも満たない時間でしたが、お互いに印象深い滞在となりました。

彼女たちの活躍を遠い日本から見守っていききたいと思います。



筒井さんが用意したパジャマにご満悦



ホテルの受付カウンターで

2年間の準備が 実を結びました

のりふみ
菊池紀文さん
(秋田キャッスルホテル)

ホテルには、大会役員のみなさんが宿泊。選手よりも滞在期間が長いので、体調を崩されないよう、空調管理やこまめな清掃に気を遣いました。食事も数千人単位で用意することもあったのでピュウフェ方式にし、毎日少しずつ違うメニューを取り入れるなど、工夫を凝らしました。外国のかたは、食事にたっぷり時間をかけるので我々も最初は戸惑いましたが、外国の慣習に直接触れることができ、学ぶことも多くありました。

長野オリンピックを経験したホテル関係者にアドバイスをいただきながら2年間、大会に備えてきました。その甲斐あって、役員・選手それぞれリラックスして過ごしてもらえたと思います。中には、毎日スタッフに自国ベルギーの御国自慢をするかたもいて、すっかりホテルで有名になりました。



ラグビーの役員に話しかけるデジタル・ラウンジの森屋店長

ロコミで広がり インターネットカフェ 連日大盛況

まさはる
佐藤雅春さん
(デジタル・ラウンジ経営)

インターネットカフェ「デジタル・ラウンジ」が連日大盛況。大会期間中、1日延べ100人ももの外国の選手、役員の人たちに利用してもらいました。1時間200円という低料金で24時間、自由にインターネットに接続できるとあって、特別PRもしていませんでしたが、ロコミで広がり、特に夜は超満員。

外国の選手、役員のみなさんは、メールを使って自国に競技結果を報告したり、家族や職場にメールを送ったり。インターネットで天気予報を調べるかたもいて、夜8時過ぎには、30台のパソコンがフル稼働、順番待ちもでるほどでした。

外国ではネット利用が当たり前、パソコンも難なく使いこなして、日本や秋田との定着度の違いを痛感しました。

このインターネットカフェは、キャッスルホテル2階に8月にオープンしたばかり。今度は秋田のかたもパソコンをどんどん利用して、世界と様々な情報交換をしてくれるのを楽しみにしています。